

夕カノ 通信

Vol.13
2002/03
証券コード 7885

第49期 事業報告書
平成13年4月1日▶平成14年3月31日



©Snowman Enterprises Ltd. 2002 Licensed by Sony Plaza Co., Ltd.

Takano
夕カノ株式会社

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素から格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
当社の第49期の業績ならびに次期の見通しについて、次のとおりご報告させていただきます。

当期の概況 連結

当連結会計期間におけるわが国経済は、雇用不安等を背景とした個人消費の低迷に加え、米国発の世界的なIT不況のあおりを受け、企業の設備投資も落ち込みました。また、米国における同時多発テロの影響により先行きに対する不透明感が一層高まるなど、企業を取り巻く環境は非常に厳しい状況のままに推移いたしました。

このような環境にあって当社は、「戦略・戦術を明確にして、常に将来への布石を心がけ、量より質を高める経営をする」という基本的な考えを掲げ、OEM事業分野の合理化による収益力向上、エレクトロニクス関連事業画像処理検査装置の新技術開発と拡販および将来に向けて新たな事業を立ち上げるべく「事業開発部」を発足させ、新規事業の模索をしてまいりました。

しかしながら、当連結会計期間の売上高は、エレクトロニクス関連事業の販売は増加したものの、企業の設備投資意欲減退に伴うオフィス家具需要の落ち込みは予想以上に大きく、前年同期比較で2,439百万円減少し、18,702百万円(前年同期比11.5%減)となりました。

営業利益は前年同期比較で1,570百万円減少し、753百万円(前年同期比67.6%減)となりました。これは従来よりの合理化や管理間接部門の生産性向上のほか、IT(情報技術)の活用を通じた開発期間の短縮等のコストダウンを行ったものの、売上高減少の影響をカバーするには至らなかったことおよび

次期連結業績の見通し

売上高	19,500百万円	(前期比 4.3%増)
経常利益	1,550百万円	(前期比 92.5%増)
当期純利益	910百万円	()

次期単体業績の見通し

売上高	18,200百万円	(前期比 3.2%増)
経常利益	1,500百万円	(前期比 19.5%増)
当期純利益	870百万円	(前期比 123.8%増)

エレクトロニクス関連事業に属する連結子会社オプトワン株式会社の業績不振によるものであります。

経常利益は、上記営業利益減少の影響が大きく、前年同期比較で1,572百万円減少し、805百万円(前年同期比66.1%減)となりました。

また、当期純利益につきましては、OEM事業に属する当社オフィス家具分野およびエクステリア分野において、製品の使用中まれに不具合が発生することが判明したため、OEM供給先が部品・製品の無償自主交換を行いました。この無償交換にかかる費用の当社負担分602百万円を特別損失に計上した結果、前年同期比1,393百万円減少し、91百万円の損失となりました。

次期の見通し

次期の見通しにつきましては、国内経済ではさらなるデフレの進行も予測され、個人消費、住宅投資および企業の設備投資などの先行きも不透明であり、引き続き厳しい状況が続くものと予想されます。

このような厳しさが予想される経営環境にあって、当社グループといたしましては「自立」、「挑戦」および「IT(情報技術)」をスローガンとして経営基盤の拡充に努めるとともに、当期発生した品質上の問題を教訓とし、お客様の信頼を回復するとともに真にお客様に喜ばれる製品・サービスを提供するべく、品質を経営の第一に位置づけ、活動をしてまいります。

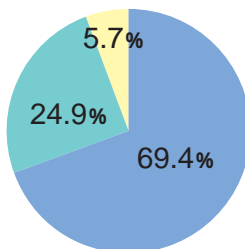
株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成14年6月

代表取締役社長 鷹野 準

セグメント別売上高構成比

● : OEM事業	12,977百万円
● : エレクトロニクス 関連事業	4,655百万円
● : その他の事業	1,069百万円



事業別概況

OEM事業

OEM事業は、オフィス家具、エクステリア、健康福祉・ユニットに大別されます。オフィス家具は、開発および製造部門が一体となり、顧客ニーズやリサイクルを考慮した新製品の開発とコストダウンを積極的に推進したものの、オフィス家具業界の急激な需要の減退、加えて市場競争の激化にともなう販売価格の低下の影響は避けられず、売上高は減少いたしました。

エクステリアは、住宅関連投資の低迷にともなう競争の激化およびそれに起因する価格下落の影響を受けたものの、売上高はほぼ横這いで推移いたしました。

また、健康福祉・ユニットにおきましても自動車国内販売の低迷による低価格化を指向した部品の海外調達へのシフト、コストダウン要請等により、売上高は減少いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は12,977百万円（前年同期比14.9%減）、営業利益は307百万円（前年同期比72.4%減）となりました。

エレクトロニクス関連事業

エレクトロニクス関連事業は、当社および連結子会社オプトワン株式会社によって構成されており、電磁アクチュエータおよび画像処理検査装置に大別されます。

電磁アクチュエータは、新規受注獲得を目指した顧客開拓および新用途開発に注力したものの、価格競争の激化にともなう製品単価の下落の影響により売上高は対前年同期を下回りました。

一方、画像処理検査装置は液晶・PDP（プラズマディスプレイパネル）をはじめとする国内FPD（フラットパネルディスプレイ）および半導体パッケージメーカーにおける設備投資は減少基調であったものの、当社の受注動向は韓国・台湾向けを中心に堅調に推移し、売上高は対前年同期比で増加いたしました。一方、期初より営業を開始した連結子会社オプトワン株式会社は見込み以上に受注が落ち込み、利益面でも大変厳しい状況でありました。

この結果、当セグメントの売上高は4,655百万円（前期比4.5%増）、営業利益は513百万円（前期比51.7%減）となりました。

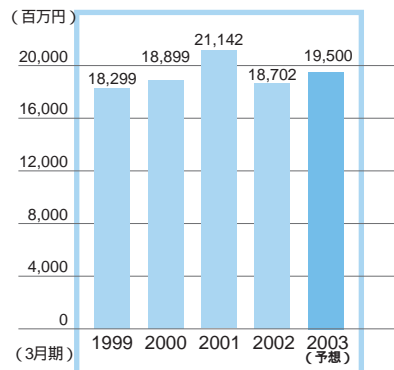
その他の事業

連結子会社である省力化機械等の製造・販売を行っておりますタカノ機械株式会社および工具・機械装置等の仕入販売を行っております株式会社ニッコーが当セグメントを構成しております。

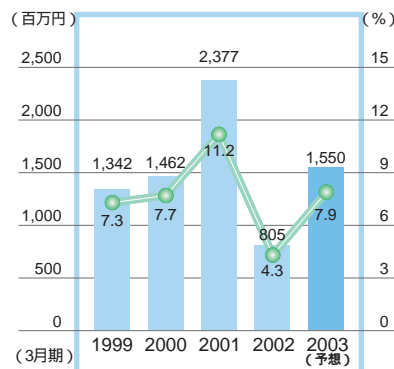
株式会社ニッコー、タカノ機械株式会社ともに、企業の設備投資の冷え込みを受け受注が減少し、減収・減益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は1,069百万円（前年同期比25.3%減）、営業損失は50百万円となりました。

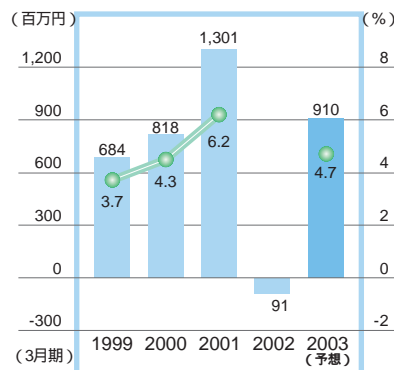
売上高



経常利益 売上高経常利益率



当期純利益 売上高当期純利益率



(注)2002年3月期は、当期純損失のため売上高当期純利益率は表示していません。

特集

エレクトロニクス関連事業 「画像処理検査装置」について

日頃みなさまからいただく、お問い合わせのなかで「画像処理検査装置とはどのようなものか」というご質問を多く頂戴いたします。そこで、本冊子をお借りして、みなさまに画像処理検査装置とはどのようなものか、また、今後どのような方向へ向かっていくのかをご説明したいと思います。

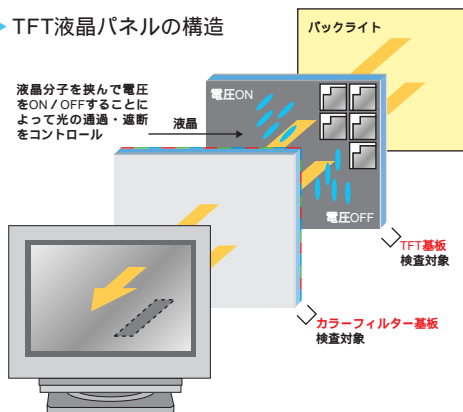


液晶基板検査装置

画像処理検査装置とは何を どのような方法で検査する装置か

当社の画像処理検査装置は、主に液晶パネル・PDP(プラズマディスプレイパネル)をはじめとするFPD(フラットパネルディスプレイ)やパソコンのCPU(中央演算装置)

▶▶▶ TFT液晶パネルの構造



をのせる半導体パッケージ等の製造ラインのなかで微細なパターンの欠陥やキズ、汚れなどの欠陥を検出するものです。

様々な検査対象のなかで当社が主力としているのが、液晶パネルのカラーフィルターの検査です。

液晶パネルはカラーフィルター基板とTFT基板に液晶が挟まれてできています。(左図)その目で見える側のガラス基板がカラーフィルター基板です。このカラーフィルター基板にはRGB(レッド・グリーン・ブルー)の色が微細なセルに塗り分けられております。この色が欠陥なく塗られているか、キズや汚れがないかなどを当社の検査装置で検査をします。検査をすることによって、液晶メーカー(またはカラーフィルターメーカー)の生産性向上に寄与しております。

このカラーフィルターの検査装置では、当社は世界市場の約60%程度のシェアを占めており、トップの市場占有率

となっております。

検査の方法は、検査対象物をCCDカメラによって撮影・入力し、その画像を画像処理技術でイメージ化することによって製品の良・不良を判定します。

また、当社の検査装置の特徴としては客先の製造ライン

今後の市場動向、成長性

当社検査装置の主力検査対象である液晶をはじめとしたFPD（フラットパネルディスプレイ）は需要の周期的変動はあるものの中期的には需要が大きく拡大されることが見込まれています。

液晶パネルの生産数量は、パソコン用モニターおよびテレビがブラウン管から液晶へ移行することなどから需要は今後5年間の平均成長率が約20%程度となると予測されております。

また、大型テレビの本命であるPDP（プラズマディスプレイパネル）の生産数量は今後5年間の平均成長率が約20%程度となると予測されております。

このような、FPD需要の拡大に伴いその製造装置の一部であるFPD検査装置の需要もまた拡大していくことが見込まれます。

画像処理検査装置事業の中期展望

FPD（フラットパネルディスプレイ）需要は液晶・PDP（プラズマディスプレイパネル）を中心に拡大していくとともに、技術革新により、有機・無機ELD（エレクトロ・ルミネセンス・ディスプレイ）FED（フィールド・エミッション・ディスプレイ）など新たなディスプレイデバイスが市場に投入され、さらに多様化していくことが予測されます。

当社は、新たな技術革新で生まれた検査ニーズに対して積極的提案を行い、顧客であるFPDメーカーの生産性向上に貢献する検査システムを提供することにより、中期的に

のなかに組み込まれインラインで検査を行うものであり、検査スピードが早いことが上げられます。さらに、現在液晶製造メーカーでは生産性向上を目的に液晶ガラス基板を大型化させております。当社の検査装置は検査対象物の大型化にも対応しております。

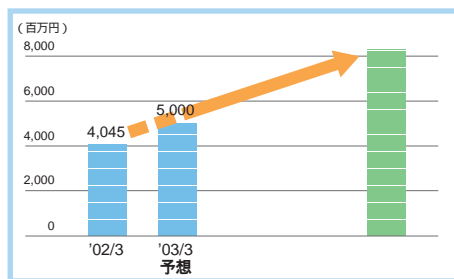


クリーンルームでの検査装置の調整

なお現在、日本国内から台湾・韓国をはじめとするアジアへFPDの製造拠点は移行しており、検査装置の需要地も国内からアジアへ移行しております。

上記のような市場動向のなか、当社はグローバルな販売およびメンテナンスに対応した体制づくりに注力するとともに、客先ニーズを満足する新たな技術の研究・開発を積極的に推進することにより、シェアの拡大を図ってまいります。

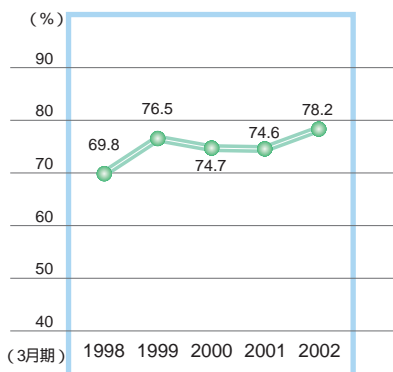
▶▶▶ 画像処理検査装置事業の売上高目標



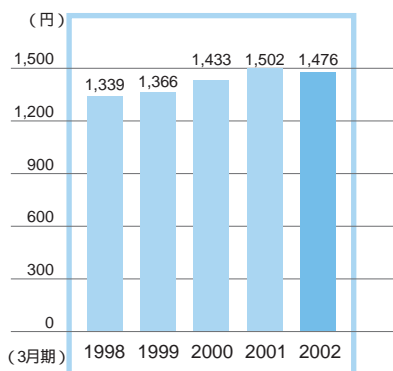
は今期（2002年3月期）の売上規模の約2倍を目標に画像処理検査装置事業を拡大させてまいります。

連結決算概要(要旨)

株主資本比率



1株当たり株主資本 (BPS)



連結貸借対照表

(単位：百万円)

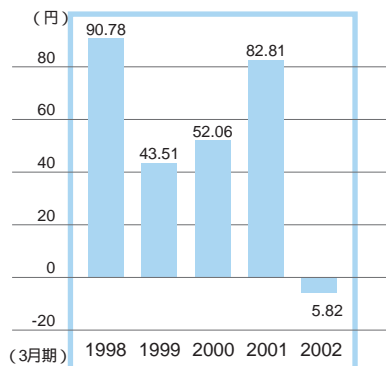
科目	当期	前期	増減
	平成14年3月31日	平成13年3月31日	
資産の部			
流動資産	17,441	19,446	2,004
現金及び預金	7,456	7,322	133
受取手形及び売掛金	7,903	9,847	1,943
有価証券		49	49
棚卸資産	1,670	1,866	196
その他	435	402	33
貸倒引当金	23	42	18
固定資産	12,260	12,207	53
有形固定資産	7,998	8,069	70
無形固定資産	204	286	81
投資その他の資産	4,058	3,851	206
資産合計	29,702	31,654	1,951
負債の部			
流動負債	5,364	6,711	1,346
支払手形及び買掛金	3,811	4,687	875
未払法人税等	166	500	333
賞与引当金	365	342	23
その他	1,020	1,180	160
固定負債	1,121	1,316	194
長期借入金	31	149	117
退職給付引当金	997	1,084	87
役員退職慰労引当金	93	82	10
負債合計	6,486	8,028	1,541
少数株主持分			
少数株主持分		9	9
資本の部			
資本金	2,015	2,015	
資本準備金	2,157	2,157	
連結剰余金	19,029	19,393	363
その他有価証券評価差額金	13	49	36
資本合計	23,216	23,616	399
負債、少数株主持分及び資本合計	29,702	31,654	1,951

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当期	前期	増減
	平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで	平成12年4月1日から 平成13年3月31日まで	
売上高	18,702	21,142	2,439
売上原価	15,536	16,529	992
売上総利益	3,165	4,612	1,446
販売費及び一般管理費	2,411	2,289	122
営業利益	753	2,323	1,569
営業外収益	81	90	8
受取利息・配当金	47	54	6
その他	34	36	2
営業外費用	30	36	5
支払利息	4	7	3
その他	25	28	2
経常利益	805	2,377	1,572
特別利益	99	89	9
特別損失	670	290	379
税金等調整前当期純利益	233	2,176	1,942
法人税、住民税及び事業税	409	811	402
法人税等調整額	73	63	137
少数株主利益	9	0	9
当期純利益又は純損失	91	1,301	1,393

▶▶▶ 1株当たり当期純利益 (EPS)



連結剰余金計算書

(単位：百万円)

科目	当期	前期
	平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで	平成12年4月1日から 平成13年3月31日まで
連結剰余金期首残高	19,393	18,364
連結剰余金減少高	272	272
当期純利益又は純損失	91	1,301
連結剰余金期末残高	19,029	19,393

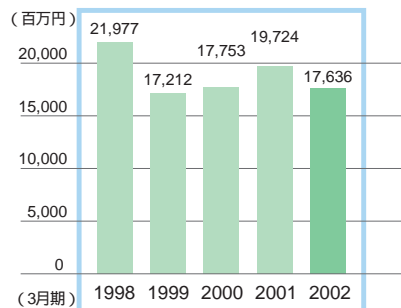
連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

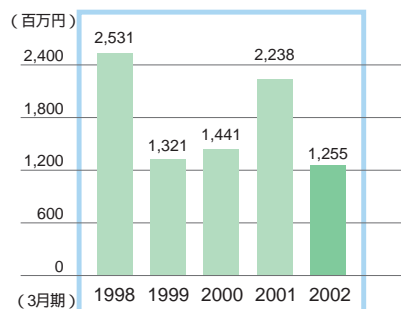
科目	当期	前期
	平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで	平成12年4月1日から 平成13年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,298	348
投資活動によるキャッシュ・フロー	601	2,555
財務活動によるキャッシュ・フロー	382	435
現金及び現金同等物の増加額(減少額)	314	2,642
現金及び現金同等物の期首残高	5,106	7,748
現金及び現金同等物の期末残高	5,420	5,106

単体決算概要(要旨)

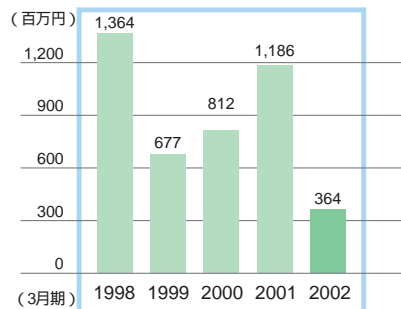
売上高



経常利益



当期純利益



単体貸借対照表

(単位：百万円)

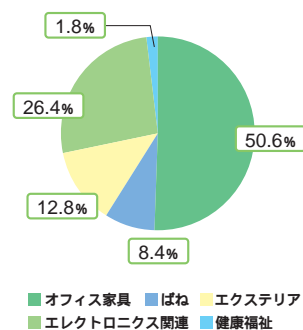
科目	当期	前期	増減
	平成14年3月31日	平成13年3月31日	
資産の部			
流動資産	16,473	18,128	1,654
現金及び預金	6,995	6,826	168
受取手形	695	382	313
売掛金	6,876	9,059	2,183
棚卸資産	1,488	1,444	44
その他	435	452	33
貸倒引当金	18	37	19
固定資産	12,990	12,417	572
有形固定資産	7,784	7,963	178
無形固定資産	164	240	76
投資その他の資産	5,041	4,213	827
資産合計	29,463	30,546	1,082
負債の部			
流動負債	5,060	6,000	940
支払手形及び買掛金	3,591	4,388	797
未払法人税等	159	472	313
賞与引当金	343	325	18
その他	966	814	152
固定負債	1,085	1,283	198
長期借入金	31	149	117
退職給付引当金	970	1,059	89
役員退職慰労引当金	83	74	8
負債合計	6,145	7,284	1,138
資本の部			
資本金	2,015	2,015	
資本準備金	2,157	2,157	
利益準備金	503	503	
その他の剰余金	18,627	18,535	92
その他有価証券評価差額金	13	49	36
資本合計	23,318	23,261	56
負債及び資本合計	29,463	30,546	1,082

単体損益計算書

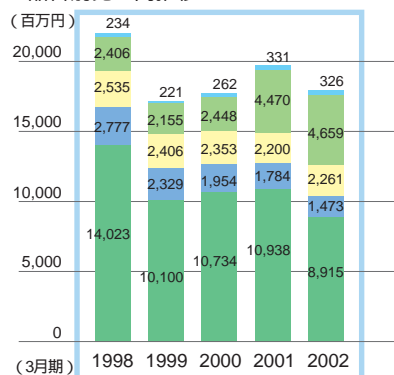
(単位：百万円)

科目	当期	前期	増減
	平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで	平成12年4月1日から 平成13年3月31日まで	
売上高	17,636	19,724	2,088
売上原価	14,300	15,405	1,104
売上総利益	3,335	4,318	983
販売費及び一般管理費	2,140	2,138	1
営業利益	1,195	2,180	985
営業外収益	89	95	6
営業外費用	28	37	8
経常利益	1,255	2,238	983
特別利益	102	91	10
特別損失	670	288	381
税引前当期純利益	688	2,041	1,353
法人税、住民税及び事業税	398	774	376
法人税等調整額	74	80	155
当期純利益	364	1,186	822
前期繰越利益	553	548	5
退職手当積立金取崩額		240	240
当期末処分利益	918	1,975	1,057

当期の品目別売上高構成比(単位：%)



品目別売上高推移



利益処分

(単位：円)

科目	当期	前期
当期末処分利益	918,070,463	1,975,487,980
利益処分額	470,757,000	1,421,757,000
利益配当金	267,257,000 (1株につき17円00銭)	267,257,000 (1株につき17円00銭)
役員賞与金 (うち監査役賞与金)	3,500,000 (400,000)	4,500,000 (400,000)
任意積立金 別途積立金	200,000,000	1,150,000,000
次期繰越利益	447,313,463	553,730,980

1

Takano CLOSE UP

新製品

コンバーダブルウィールチェアを発売

タカノ健康福祉部は車椅子をはじめとした移動・移乗などの機器類等の製造販売を中心に事業を行い、「高齢者・障害者の自立のお手伝いと介護者の労力の低減を通じて幸せを感じてもらおう」というコンセプトのもとに事業を展開しております。

以上のコンセプトに基づき、ストレッチャーから介助型車椅子へワンタッチで切り替わる「ストレッチャーウィールチェア」を開発、販売してまいりました。

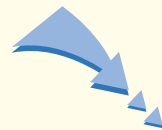
このたび、介護の現場のみなさまからのご意見、ご要望等を取り入れ、当社の新たなノウハウを追加して「ストレッチャーウィールチェア」を大幅に改良した新製品「コンバーダブルウィールチェア(通称：コンバー2)」を開発、販売を開始いたしました。

この新製品の特徴は、従来品と比較して重量が30%軽量化され介護施設内でのスムーズな取扱いが可能となったこと、販売価格も40%程度下げよりお求め安い価格となったことおよび豊富なカラーバリエーションから製品上張り生地を選択いただけること等です。

この新製品は、福祉・医療施設を中心に販売活動を行っていくとともに、米国への輸出も行い、国内

においては年間400台の販売を目標にしております。

今後の成長が見込まれる介護・福祉関連市場において、タカノはこの新製品に限らず、「高齢者・障害者の自立と介護者の労力の低減」を可能とする製品の開発・拡販に注力し、健康福祉事業の拡大を図ってまいります。



2

Takano CLOSE UP



健康関連食品分野

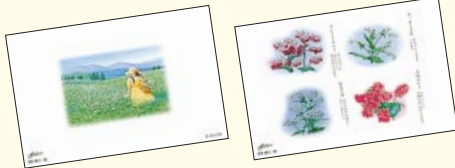
「赤花そば畑一坪オーナー」募集を実施

タカノは、昨年8月健康関連食品等のインターネットWebサイト(<http://www.takano-net.co.jp/soba/>)を立ち上げるとともに、健康関連食品等の通信販売を本格的に開始し、取扱商品アイテムの拡充を図っております。

健康関連食品通信販売の取扱商品アイテム拡充にともない、このたび「赤花そば畑一坪オーナー」を募集しております。

「赤花そば畑一坪オーナー」とは、お申し込みをされたかたに、当社が種苗法登録をしている赤い花の咲くそば「高嶺ルビー」を栽培している当社契約農場の一坪分のオーナーとなっていただき、収穫までに3回そばの生育状況をお手紙・写真にてお知らせするとともに、収穫後12月には生の八割そば(2食分)をご自宅に直送するというものです。

今後も魅力的な商品アイテムの拡充を図っていくとともに、新たな事業の開拓という視点から、健康食品関連商品の事業化に注力してまいります。



スケジュール

5月 お申込締切

代金のお振込み
オーナー証発行

7月 タネまき

<芽が出た通信>発行

9月 満開

<満開通信>発行

11月 収穫

<収穫通信>発行

12月 製粉・製麺・そば宅配

特典

1. **あなただけのそば畑**
1坪(3.3m²)分のそば植物自体のオーナーになっていただけます。
2. **赤い花の「高嶺ルビー」も選択可能**
赤花そば「高嶺ルビー」もお選びいただけます。
3. **らーくらく**
手間は一切かかりません。
4. **わくわく！そばの成長！**
栽培の状況を収穫までにお手紙・写真で3回お知らせ
5. **そば畑へいらっしやい！**
現地の見学が可能です。
6. **生そばを直送**
生八割そば(2食)をご自宅へ直送
7. **完全保証**
不作の場合にも、お客様への生そば種2食分は当社で保証

会社概要

商号	タカノ株式会社
本社所在地	長野県上伊那郡宮田村137
創業	昭和16年7月1日
設立	昭和28年7月18日
資本金	20億1,590万円
事業内容	事務用椅子、その他椅子等のオフィス家具、ばね、エクステリア製品、エレクトロニクス関連製品、健康福祉機器の製造ならびに販売
従業員数	444名(平成14年3月31日現在)
上場取引所	東京証券取引所市場第二部

事業所

本社	〒399-4301 長野県上伊那郡宮田村137 TEL (0265) 85-3150 (代)
宮田工場	〒399-4301 長野県上伊那郡宮田村137 TEL (0265) 85-3155 (代)
伊那工場	〒399-4431 長野県伊那市西春近下河原5331 TEL (0265) 72-3147 (代)
下島工場	〒399-4431 長野県伊那市西春近小平3587-1 TEL (0265) 73-2088 (代)
エクステリア工場	〒399-4301 長野県上伊那郡宮田村2053-7 TEL (0265) 85-4848 (代)
馬住工場(倉庫)	〒399-4117 長野県駒ヶ根市赤穂14-353 TEL (0265) 81-1575 (代)
横浜工場	〒224-0057 神奈川県横浜市都筑区川和町639 TEL (045) 931-4424 (代)
特品工場	〒399-4301 長野県上伊那郡宮田村5450-205 TEL (0265) 85-3727 (代)
東京営業所	〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-13-1タカノビル TEL (03) 3253-8261 (代)
函館事業所	〒042-0958 北海道函館市鈴蘭丘町3-88 TEL (0138) 31-9313 (代)

役員 (平成14年6月27日現在)

代表取締役社長	鷹野 準
常務取締役	鷹野 力
常務取締役	野溝 郁文
取締役	小田切 章
取締役	大住 之盈
取締役	有賀 松雄
取締役	窪田 守男
取締役	黒田 章裕
取締役	前田 次啓
常勤監査役	菅沼 孝彦
監査役	黒田 錦吾
監査役	河村 公二

グループ会社

株式会社ニッコー			
住所	長野県上伊那郡宮田村	資本金	90百万円
事業内容	工具・器具機械等の仕入販売	出資比率	100%
タカノ機械株式会社			
住所	長野県上伊那郡宮田村	資本金	50百万円
事業内容	省力化機械の製造販売	出資比率	100%
オプトワン株式会社			
住所	静岡県藤枝市	資本金	50百万円
事業内容	検査装置の製造販売	出資比率	80%

株式の状況

株式・株主の総数

会社が発行する株式の総数

50,000,000株

発行済株式の総数

15,721,000株

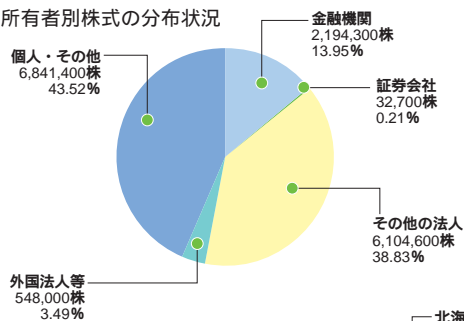
株主数

2,402名

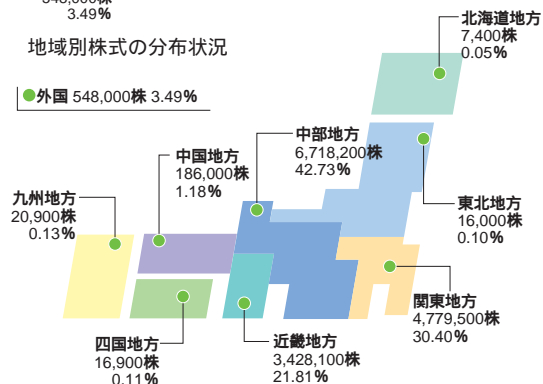
大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
コクヨ株式会社	3,151,500株	20.04%
日本発条株式会社	2,151,500株	13.68%
鷹野 準	1,862,480株	11.84%
堀井朝運	1,315,650株	8.36%
みずほ信託退職給付信託日本発条口	1,000,000株	6.36%
鷹野 力	404,620株	2.57%
ザチェスマンハッタンバンク エヌエイロンドン	346,700株	2.20%
堀井 良子	343,650株	2.18%
鷹野 ミナ	311,190株	1.97%
三菱信託銀行株式会社(信託口)	310,000株	1.97%

所有者別株式の分布状況



地域別株式の分布状況



株価の推移



ホームページのご紹介

情報満載のタカノのホームページもご覧ください。

<http://www.takano-net.co.jp>



ようこそタカノ株式会社のホームページへ

トピックス

- 信州のそば一搾オーナー募集！(2002/02/27)
- 平成14年3月期中間決算短信(2001/11/16)
- 平成13年送料株主優待品のご案内(2001/11/01)
- 「食する健康」通信販売のページ オープン(2001/08/03)
- レーザー加工システムのページ(2001/08/01) レーザーのページ
- 家具事業部 資材調達ページ(2000/09/21)
- エクステリア事業のページ(2000/05/18)

インテックス

新製品のご紹介

会社概要

技術情報

IR情報

採用情報

お問い合わせ

製品情報

アクセント

レーザーシステム

その他のページ

お問い合わせ

本社周辺

東京支店

大阪支店

福岡支店



投資家のみなさまへ

Investor Relations

What's new

- 2002.05.21
「IR-Webページ」リニューアル
- 2002.05.20
「2002年3月期決算説明会」を開催いたしました。
- 2002.05.20
「2002年3月期決算短信」を公表いたしました。
- 2002.04.24
「株主総会」(2002年3月期)を開催いたしました。
- 2002.04.18
「2002年3月期決算予想」を公表いたしました。
- 2002.04.18
「製品および業務に関するお知らせ」を公表いたしました。

タカノ通信Vol. 11においてお願いをしましたアンケートには多数の貴重なご回答をいただき、誠にありがとうございました。お葉書1枚1枚の向こう側に、株主のみなさまの当社に対する暖かい思いや厳しさなどが感じられ、私ども一同身の引き締まる思いでありました。みなさまのご意見等を今後の事業報告書の編集に活かすとともに、よりよいIR活動の実践に活かしてまいりたいと考えております。

つきましては、お手数ですが、添付しました「アンケートはがき」にお気づきの点を何なりとご記入のうえ、ご返送いただければ幸いです。みなさまのご協力のほど、よろしく願いいたします。

アンケートご協力をお願い

株主優待制度のご案内

平成13年度の株主優待は、1,000株以上所有のみなさまへは右記A～Eの5点の商品の中から1点お選びいただき贈呈いたしました。100株以上1,000株未満所有のみなさまへは当社にて製造販売している赤い花の咲くそば「高嶺ルビー」の乾麺セットを贈呈いたしました。

本年度の優待品もみなさまにおよこぎびいただけるよう厳選の品をお送りする予定でありますので、ご期待ください。

株主優待について

タカノでは、株主のみなさまに對しましての利益還元の一環として、毎年「株主優待」を実施しております。

毎年9月30日現在1,000株以上ご所有の株主のみなさまに、長野県にちなんだ特産品を、また、100株以上、1,000株未満のみなさまに当社オリジナルの品を送付しております。なお、「りんご」など季節の品物をお送りする関係上、11月に優待申込書をご送付し、お申し込みをいただき、12月初旬に品物をご送付という日程で、優待を実施しております。



B. 信州りんご



D. 信州の山いも



A. 信州の地酒



C. 高級なめ茸「志賀の郷」



E. 信州富士見高原ハム・ソーセージ



タカノ株式会社

〒399-4301 長野県上伊那郡宮田村137
TEL. 0265-85-3150(代)

株主メモ

決算期 毎年3月31日
 定時株主総会 毎年6月
 基準日 定時株主総会及び利益配当金については
 毎年3月31日
 中間配当金及び株主優待については
 毎年9月30日
 その必要がある時は、あらかじめ公告いたします。

名義書換代理人 UFJ信託銀行株式会社
 東京都千代田区丸の内1-4-3

同事務取扱所 UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 東京都江東区東砂7-10-11 (〒137-8081)
 TEL : 03-5683-5111

同取次所 UFJ信託銀行株式会社 全国各支店

1単元の株式の数 100株

公告掲載新聞名 日本経済新聞

*お知らせ 名義書換代理人東洋信託銀行株式会社は、平成14年1月15日をもって、商号をUFJ信託銀行株式会社(登記上は、ユーエフジェイ信託銀行株式会社)に変更いたしました。



NAGANO trend

2

しらかんば？

別名「しらかんば」と呼ばれる「白樺」は長野県の県木に指定されています。

白樺の爽やかな姿は信州の高原風景には欠かせなく、県内有数の観光スポットである白樺湖・夢科高原などでは多くの人々に涼やかな印象を残しています。白くなめらかな木肌が特徴で、まっすぐな幹が高さ二十〜三十メートルにまでなり、枝は細く伸びて多岐に葉を広げます。木そのものの材質は硬く、木目が細かく家具材や建築の内装にも使用されます。



地球環境に配慮した大豆油
インキを使用しています



高品質配合率100%再生紙を使用しています